

| | | | | | |
|--------|--|-----|-----|---------|-----------------|
| 教科(科目) | 国語(現代の国語) | 単位数 | 2単位 | 学年(コース) | 1 学年(商業科・情報処理科) |
| 使用教科書 | 東京書籍『精選 現代の国語』 | | | | |
| 副教材等 | 第一学習社『新版三訂ニューエイジ現代文基礎1』、第一学習社『新版六訂カラー版新国語便覧』、第一学習社『新版高校漢字必携』 | | | | |

1 学習目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。
- (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝えあう力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) ことばが持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 指導の重点

進学・就職等希望進路が多岐にわたっていることから、

- ① 基本的な言語事項の習得を重視し、特に常用漢字の確実な習得を目指します。
- ② 文章を的確に理解した上で、自分の考え方を確立させることを目指します。
- ③ 更にそれらを的確に表現し、積極的に他者とのコミュニケーションを図る態度を育てます。

3 評価の観点の趣旨

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|-------------------------------|---|--|
| 実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにしている。 | 「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに創造したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。 | 言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、ことばが持つ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。 |

4 評価規準と評価方法

| 評価は次の観点から行います。 | | | |
|----------------|---|---|--|
| | 知識・技能 a | 思考・判断・表現 b | 主体的に学習に取り組む態度 c |
| 評価の観点 | 実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにしている。 | 「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに創造したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。 | 言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、ことばが持つ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。 |
| 評価方法 | 以上の観点を踏まえ、 ・ペーパーテストの分析 ・ノートやワークシート、意見文、提出物などの内容の確認 などから、評価します。 | 以上の観点を踏まえ、 ・ペーパーテストの分析 ・授業中の発言、発表や討論への取組の観察 ・ノートやワークシート、意見文、提出物などの内容の確認 などから、評価します。 | 以上の観点を踏まえ、 ・授業中の発言、発表や討論への取組の観察 ・ノートやワークシート、意見文、提出物などの内容の確認 などから、評価します。 |

5 学習計画

| 月 | 単元名 | 授業時数 と領域 | 教材名 | 学習活動(指導内容) | 評価の観 点 | 評価方法 |
|---|------------|-----------------------|-------------------------------|---|-----------|--|
| 4 | 自己と他者 | 4 C「読むこと」 | 松村圭一郎 「まだ知らない自分に出会 う」 | ・対話についての考え方に注意し ながら、本文を通読する。 | a | ワークシート、ノート (記述の点検)、 ペーパーテスト ワークシート (記述の点検)、 ペーパーテスト 話し合いの様子 (行動の確認) |
| | | | | ・筆者の考える読書が、どのよう なものであるかを理解する。 | b | |
| 5 | 自己と他者 | 5 A「話すこと・ 聞くこと」 | 分かりやすい 説明をする | ・「分かりやすい説明」と「分か りにくい説明」の違いを考える。 | a | ワークシート (記述の点検) 話し合いの様子 (行動の確認) |
| | | | | ・グループに分かれて、「自分 の学校の行事」を説明するロー ルプレールを行う。 | b | |
| 6 | 認識を深め る | 4 C「読むこと」 | 山崎正和「水 の東西」 | ・「鹿おどし」と「噴水」の違いに 着目して全文を通読する。 | a | ワークシート、ノート (記述の点検)、 ペーパーテスト ワークシート (記述の点検)、 ペーパーテスト |
| | | | | ・日本人が噴水を作らなかった 理由をつかみ、「鹿おどし」(日 本人)と「噴水」(西洋人)の水に 対する捉え方の違いを理解す る。 | b | |
| 7 | 認識を深め る | 7 B「書くこと」 | 新聞記事をも とに問いを作り、意見をま とめる | ・「学習の流れ」を読んで、活動 のポイントの見通しを持つ。 | a | ワークシート (記述の点検) 話し合いの様子 (行動の確認)、 ワークシート (記述の点検) |
| | | | | ・グループごとに複数の新聞記 事に目を通し、興味のある新聞 記事を探し、選ぶ。インターネ ットを利用し、興味のある新聞 記事に関係する情報を探す。 | b | |
| 7 | | | | ・グループで新聞記事に対する 「問い」を挙げ、それに対する意 見を意見文にまとめる。 | c | 話し合いの様子 (行動の確認)、 ワークシート (記述の点検) |
| | | | | 1学期期末考査 | a、b | |

| | | | | | | |
|---------------|---------|-----------------------|------------------------|--|-------------|--|
| 7 | 言葉と社会 | 5 A「話すこと・ 聞くこと」 | 本を紹介する | <ul style="list-style-type: none"> ・「学習の流れ」を読んで、活動のポイントの見通しを持つ。 ・お薦めの本をいくつか挙げて、リストをつくる。ジャンルごとに班を作り、各自で紹介の準備や練習をする。 ・選んだ本を班の中で紹介し合い、聞き手はメモを取りながら聞く。 | a b c | <p>ワークシート (記述の点検)</p> <p>ワークシート (記述の点検)</p> <p>発表の様子 (行動の確認)、 ワークシート (記述の点検)</p> |
| 9 10 11 | 言葉と社会 | 6 C「読むこと」 | 山崎亮「まちの豊かさとは何か」 | <ul style="list-style-type: none"> ・「豊かさ」についての考え方に注意しながら、本文を通読する。 ・「豊かなまち」をつくるためには何が必要かを読み取り、まとめる。 ・「豊かさ」について各自考えたことを、討論する。 | a b c | <p>ワークシート、ノート (記述の点検)、 ペーパーテスト</p> <p>ワークシート (記述の点検)、 ペーパーテスト</p> <p>話し合いの様子 (行動の確認)</p> |
| | 言葉と社会 | 8 B「書くこと」 | 調べた情報を説明資料にまとめる | <ul style="list-style-type: none"> ・「学習の流れ」を読んで、活動のポイントの見通しを持つ。 ・「課題」の中から一つを選び、どのような説明資料を作るかを決め、情報を集め、整理する。全体の構成を考えて説明資料にまとめる。 ・グループに分かれて説明資料を読み合い、資料の作成過程で生じた困難や浮かんだ疑問を話し合う。 | a b c | <p>ワークシート (記述の点検)</p> <p>ワークシート (記述の点検)</p> <p>話し合いの様子 (行動の確認)、 ワークシート (記述の点検)</p> |
| | 共に生きる | 8 B「書くこと」 | 異なる主張の文章を読み比べて自分の意見を書く | <ul style="list-style-type: none"> ・「学習の流れ」を読んで、活動のポイントの見通しを持つ。 ・「読書について書かれた文章」A～Cを読み比べて、文章の内容や自分の考えたことをメモし、それをもとに意見文を書く。 ・グループに分かれて意見文を読み合う。 | a b c | <p>ワークシート (記述の点検)</p> <p>ワークシート (記述の点検)</p> <p>話し合いの様子 (行動の確認)、 ワークシート (記述の点検)</p> |
| 12 | 2学期期末考査 | | | | a、b | |

| | | | | | | |
|----|--------|--------------------|--------------|---|-------------|---|
| 12 | 世界を広げる | 8 B「書くこと」 | 論証してレポートを書く | <ul style="list-style-type: none"> ・「学習の流れ」を読んで、活動のポイントの見通しを持つ。 ・「課題」の中から、レポートのテーマを一つ選び、そのテーマに関する問いを考える。レポート全体で何をどう論証していけばよいか考え、論点を整理する。論証の結果を積み重ねる形で全体の答えを導き、レポートを書く。 | a a、b | ワークシート (記述の点検) ワークシート (記述の点検)、 レポート(記述の点検) |
| | 共に生きる | 6 C「読むこと」 | 鷲田清一「真の自立とは」 | <ul style="list-style-type: none"> ・二つの意味段落の内容を押さえながら、本文を通読する。 ・者の主張する「自立」とは何か読み取る。現代における「若い」や「『大人』になること」について、筆者の言う「自立」という観点から考え、話し合う。 ・「私たちが・・・真の自立を身に付けていくことではないでしょうか。」という筆者の問いかけについて、考えたことを文章にまとめる。 | a b c | ワークシート、ノート (記述の点検)、 ペーパーテスト ワークシート (記述の点検)、 ペーパーテスト 話し合いの様子 (行動の確認) 作文(記述の点検) |
| | 世界を広げる | 10 A「話すこと・聞くこと」 | 探究したことを発信する | <ul style="list-style-type: none"> ・「学習の流れ」を読んで、活動のポイントの見通しを持つ。 ・グループに分かれて「課題」の中からテーマを設定し、調査を行い、ポスターを作成する。 ・ポスターセッションを行う。聞き手は「聞き方のポイント」を参考に、積極的な意見交換ができるようにする。 | a b c | ワークシート (記述の点検) 完成した作品、ワークシート (記述の点検) 話し合いの様子 (行動の確認) 発表の様子 (行動の確認)、 ワークシート (記述の点検) |
| 2 | 学年末考査 | | | | a、b | |

計 70時間(50分授業)

※ 領域ごとの授業時数合計

| | | | |
|-----------------|----------------------|-----------------|-----------------|
| 領域ごとの 授業時数合計 | A「話すこと・聞くこと」 20時間 | B「書くこと」 30時間 | C「読むこと」 20時間 |
|-----------------|----------------------|-----------------|-----------------|

6 課題・提出物等

- ・单元ごとにワークシート、ノート提出をします。
- ・朝学習では週一回漢字の小テストを行います。
- ・長期休業中の課題は別途指示します。(ワークなど)

7 担当者からの一言

「現代の国語」は、実社会・実生活に生きて働く国語の能力を育成する科目です。実社会に必要な国語の知識を身につけることを目指します。授業では基礎・基本を学び、実際に話したり書いたりする学習活動を通して、応用力を高めていきます。積極的に授業に参加して、力を伸ばしていきましょう。

(担当：大倉 桂子)

| | | | | | |
|--------|----------------------|-----|-----|---------|-----------------|
| 教科(科目) | 国語(言語文化) | 単位数 | 2単位 | 学年(コース) | 1 学年(商業科・情報処理科) |
| 使用教科書 | 東京書籍『精選 言語文化』 | | | | |
| 副教材等 | 第一学習社『新版六訂カラー版新国語便覧』 | | | | |

1 学習目標

| |
|---|
| <p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。</p> <p>(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p> |
|---|

2 指導の重点

| |
|---|
| <p>① 生涯にわたって読書に親しみ、自己を向上させる基礎を作ることを目指します。</p> <p>② 文章を的確に理解した上で、自分の考え方を確立させることを目指します。</p> |
|---|

3 評価の観点の趣旨

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--|---|---|
| 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。 | 「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに創造したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。 | 言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。 |

4 評価規準と評価方法

| | | | |
|-------|--|---|---|
| | 評価は次の観点から行います。 | | |
| | 知識・技能 a | 思考・判断・表現 b | 主体的に学習に取り組む態度 c |
| 評価の観点 | 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。 | 「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに創造したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。 | 言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。 |
| 評価方法 | 以上の観点を踏まえ、 ・ペーパーテストの分析 ・ノートやワークシート、作文、提出物などの内容の確認 などから、評価します。 | 以上の観点を踏まえ、 ・ペーパーテストの分析 ・授業中の発言、発表への取り組みの観察 ・ノートやワークシート、作文、提出物などの内容の確認 などから、評価します。 | 以上の観点を踏まえ、 ・授業中の発言、発表への取り組みの観察 ・ノートやワークシート、作文、提出物などの内容の確認 などから、評価します。 |

5 学習計画

| 月 | 単元名 | 授業時数 と領域 | 教材名 | 学習活動(指導内容) | 評価の観 点 | 評価方法 |
|---------|------|------------------|--------------------------|--|-----------|--------------------------------------|
| 4 | 古文入門 | 9 B「読む こと」 | 古文の言葉 と仮名遣い 児のそら寝 | ・古文と現代文の違いについて 確認する。本文を音読し、歴史的 仮名遣いに慣れる。 | a | ワークシート、ノート (記述の点検)、ペーパー テスト |
| 5 | | | | ・児の気持ちの変化を整理し、 最後の描写の意味について考える。 | b | ワークシート(記述の点 検)、ペーパーテスト |
| | | | | ・学習課題に沿って説話のおも しろさを読み取る。 | c | ワークシート(記述の点 検)、発表の様子(行動 の確認) |
| 1学期中間考査 | | | | | a、b | |
| 5 | 随筆 | 4 B「読む こと」 | 耳覚めの季 節 | ・話題の展開に注意しながら、 本文を通読する。 | a | ワークシート、ノート (記述の点検)、ペーパー テスト |
| 6 | | | | ・「耳覚めのときが来た」「どこ かでつながっているような気が する」とはどういうことか考 える。 | b | ワークシート(記述の点 検)、ペーパーテスト |
| | | | | ・耳から聞いて興味を持った 言葉について話し合う。 | c | ワークシート(記述の 点検)、話し合いの様 子(行動の確認) |
| | 漢文入門 | 9 B「読む こと」 | 訓読の基本 故 事 成 語 「推敲」 | ・句読点・送り仮名・書き下し 文について理解する。本文を繰 り返し音読し、再読文字に注意 して書き下し文にする。正確に 現代語訳し、内容を理解する。 | a | ワークシート、ノート (記述の点検)、ペーパー テスト |
| | | | | ・「推敲」の意味を確認し、「推 敲」を使った短文を書く。 | b | ワークシート(記述の点 検)、ペーパーテスト |
| | | | | ・韓愈が「敲字佳矣」と判断した のはなぜか話し合う。 | c | ワークシート(記述の点 検)、話し合いの様子(行 動の確認) |
| 1学期期末考査 | | | | | a、b | |
| 7 | 小説 | 8 B「読む こと」 | 羅生門 | ・全文を通読し、時代背景を確 かめる。 | a | ワークシート、ノート (記述の点検)、ペーパー テスト |
| 8 | | | | ・「下人」の内面の変化を、変化 のきっかけと関連づけながら、 整理する。「老婆」の発言につい て考える。 | b | ワークシート(記述の点 検)、ペーパーテスト |
| 9 | | | | | | |

| | | | | | | |
|---------|---------|--------------|--------------------------------------|--|---|--|
| 10 | | | | ・小説の主題について考えて発表する。 | c | ワークシート(記述の点検)、発表の様子(行動の確認) |
| | 随筆 | 9 B「読むこと」 | 徒然草 「ある人、弓射ることを習ふに」 「九月二十日のころ」 | ・『徒然草』と作者について、必要な知識を得る。全文を音読し、現代語訳する。 ・それぞれの作品の主題を考える。 ・作者は伝聞したことや自分の考えをどのようにまとめているか考え発表する。 | a b c | ワークシート、ノート(記述の点検)、ペーパーテスト ワークシート(記述の点検)、ペーパーテスト ワークシート(記述の点検)、発表の様子(行動の確認) |
| 2学期中間考査 | | | | | a、b | |
| 10 | 小説 | 8 B「読むこと」 | 鏡 | ・通読して、「僕」という人物、小説の舞台設定、文章構成、語りの工夫などを読み取り、まとめる。 ・「僕」と鏡に映った「奴」との関係、ストーリーの展開に即して考え、まとめる。 ・「鏡」が持つ意味について考え感想文に書く。 | a b c | ワークシート、ノート(記述の点検)、ペーパーテスト ワークシート(記述の点検)、ペーパーテスト ワークシート(記述の点検)、読書感想文(記述の点検) |
| | 11 | 詩文 | 9 B「読むこと」 | 絶句と律詩 「春暁」 「送元二使安西」 「涼州詞」 | ・それぞれの詩の詩型と押韻を確認する。それぞれの詩を音読し、書き下す。 ・展開に注意して現代語訳し、それぞれの作品のうたわれている状況を考える。 ・それぞれどのような心情がうたわれているか考え、発表する。 | a b c |
| 12 | | 言語活動 | 3 A「書くこと」 | 訳詞を書く | ・262ページの三つの訳詞を読み比べ、表現上の特質について気付いたことを話し合う。 ・好きな漢詩を選んで、イメージをふくらませる。自分の言葉で訳詞を書き、推敲する。 ・訳詞を読み合い、表現の工夫などについて批評し合う。 | a b c |
| | 2学期期末考査 | | | | | a、b |

| | | | | | | |
|-------|------|--------------|------------------------|---|-----|---------------------------|
| 12 | 歌物語 | 9 B「読むこと」 | 伊勢物語 「東下り」 「筒井筒」 | <ul style="list-style-type: none"> ・歌物語や『伊勢物語』について、概略を理解する。全文を音読し、現代語訳する。 ・男たちの心情の変化を、和歌に着目して整理する。 ・「筒井筒・・・」「くらべこし・・・」の歌に込められた心情を考える。 ・本文の内容を基に、筒井筒の女、高安の女の人物像を考え、発表する。 | a | ワークシート、ノート（記述の点検）、ペーパーテスト |
| | 1 | | | | b | ワークシート（記述の点検）、ペーパーテスト |
| 2 | 言語活動 | 2 A「書くこと」 | 『伊勢物語』と絵画・工芸 | <ul style="list-style-type: none"> ・『伊勢物語』が後世に与えた影響の中の一つに、美術工芸があることを確認する。 ・151ページの1～3の絵が、「東下り」のどの場面を描いたものか考える。 ・好きな絵を選び、「東下り」の本文が絵ではどのように表現されているか、解説文を書く。 | a | ワークシート（記述の点検）、ペーパーテスト |
| | | | | | b | ワークシート（記述の点検）、ペーパーテスト |
| | | | | | c | ワークシート（記述の点検）、作文（記述の点検） |
| 学年末考査 | | | | | a、b | |

計 70時間（50分授業）

※ 領域ごとの授業時数合計

| | | | |
|-----------------|----------------|--------------------|----------------------|
| 領域ごとの 授業時数合計 | A「書くこと」 5時間 | B「読むこと 古典」 45時間 | C「読むこと 近代以降」 20時間 |
|-----------------|----------------|--------------------|----------------------|

6 課題・提出物等

- ・単元ごとにワークシート、ノート提出をします。
- ・長期休業中の課題は別途指示します。（ワークなど）

7 担当者からの一言

「言語文化」は、言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する能力を育成する科目です。授業では基礎・基本を学び、実際に文章を読んだり書いたりする学習活動を通して、応用力を高めていきます。積極的に授業に参加して、力を伸ばしていきましょう。

（担当 大倉桂子）